

公立小野町地方総合病院情報

一般的に「外科」といわれますが現在は専門分化が著しいのが現状です。当科では胃癌・大腸癌などの「消化器外科」を主体として診療し乳腺・小児外科領域も担当します（乳腺疾患は産婦人科を受診される方も多いため）が外科疾患に分類されませんが、骨折・脱臼などの分野は、主に「整形外科」が担当しています。



副院長(外科)
大内 孝幸

診療科目紹介

外科

小野町第三次振興計画後期計画や平成17年度町重点施策による、安心・安全な「住みよいまちづくり」のため、「公立小野町地方総合病院の支援」を掲げています。
今月も町民の皆さんの理解を深めていただくため、地域の生活基盤に重要な役割を果たしている総合病院について、その診療内容などを紹介します。

手術について

一般的に広く見られる虫垂炎・鼠径ヘルニア・痔核手術のほか胃癌・大腸癌・胆石症・腸閉塞手術など全身麻酔手術も行っております。

特に大きな手術については各診療チームの応援を得て、大学病院レベルのものとなっております。

胃癌手術などは、検査等が済んでいけば翌週にも手術が可能です。

麻酔に関しても従来外科単独で麻酔していましたが、本年4月に全国的に確保が難しい麻酔科医が着任してから麻酔技術と安全性の確保が向上しています。

医療機器の紹介

内視鏡手術装置

主に胆石症に対し内視鏡手術（腹腔鏡手術）を行っております。



超音波切開装置

従来広く使われている電気メスと併せて使用しております。出血量が少なく済む・手術時



またCTなどの検査で診断のつかない腹痛などにも、全身麻酔下に内視鏡を挿入して診断を行う腹腔鏡検査も行っています。

乳癌検診について

今年から県下全市町村でマンモグラフィー（乳房撮影装置）を併用した検診体制になりましたが当院は平成16年度からすでに導入しております。昨年は266名が受診され2例が実際乳癌でした（発見率0.75%：全国平均は約0.2%）。

2例ともしこりを自覚する以前に発見されております。乳癌検診実施に際しては、①認定試験に合格した医師・放射線技師が行う。②基準を満たした装置を使用する。などの条件が科せられていますが、当院では医師・技師ともに認定を受け、特に撮影に際しては女性技師が担当するので撮影時の心理面でも受診しやすいと思われます。

また本年は施設認定を得るべく放射線科を中心に活動しております。現在は進行度によっては救命だけでなく乳房を温存した治療も可能ですので「大切なお乳を無くさない」ためにも早期発見が何よりも大切です。

間の短縮につながる・痔核手術などでは術後疼痛が少ないなどの利点があります。これにより、

痩せた方の場合、胃腸手術も10cm程のキズで標準的胃切除を行えます。



マンモグラフィー

◆問い合わせ 公立小野町地方総合病院 ☎72-3181